



室生犀星と馬込文士村

平成25年10月5日(土)

二水高校同窓会関東支部総会 & 懇親会

東武ホテルレバント東京

実践女子短期大学

日本語コミュニケーション学科教授

高瀬真理子 (30期)

室生犀星と馬込文士村

目次

1. 馬込文士村とは……
2. 馬込の文士たちについて
3. 犀星が田端から馬込にやってきた理由
4. 馬込文士たちの事件簿
 - a. モダニズムの犠牲者、萩原朔太郎
 - b. 犀星、幻の明治大学講師
 - c. 犀星の病状を案ずる森茉莉
 - d. 犀星没後に出された偽犀星からの葉書

1. 馬込文士村とは……

- 大正期から芸術的な集まりのあった土地柄である。
- 尾崎士郎と宇野千代が移り住み、関東大震災後の新興住宅地。尾崎に誘われてさまざまな芸術家が集う。
- 起伏に富んだ地形が文学を生み出す場に適していた。
- 震災後の復興期として、新しい文化の流入を許す世相であったことと同時に時代の変革期でもあった。
- プロレタリア文学の台頭と同時に、インテリの無力感も時代の空気としてあり、肩を寄せ合って生きる空気が醸成されていた。
- 大正12年から、戦後の山本有三や三島由紀夫まで幅広くとらえ、旧馬込村を中心としてその周辺部も含み、文化創造の担い手として芸術家を幅広い範囲でとらえて「馬込文士村」と呼んでいる。

2. 馬込の文士たち

- 萩原朔太郎
- 尾崎士郎
- 宇野千代
- 広津和郎
- 吉田甲子太郎
- 衣巻省三
- 川端康成
- 片山広子

- 北原白秋
- 佐藤惣之助
- 竹村俊郎
- 三好達治
- 日夏耿之介
- 小林古径
- 川瀬巴水

3. 犀星が田端から馬込に やってきた理由

- 芥川龍之介の自殺の衝撃
- 養母赤井ハツの死
- 萩原朔太郎「室生犀星に与ふ」

昭和3年7月 田端を引き払い、軽井沢へ

9月 金沢 山田屋小路に転居

11月 東京で家探し、大森谷中へ転居

4. 馬込文士たちの事件簿（1）

a) モダニズムの犠牲者、
萩原朔太郎

「産業構造の変化」「都市化の進行に適
応」するためのキーワード

合理的・能率的・軽快・洗練

生活のさまざまな場面にモダンが氾濫

都会的「消費」と「快樂」の文化

「ジャズ」と「ダンス」

4. 馬込文士たちの事件簿（2）

b) 犀星、幻の明治大学講師

昭和7年7月頃、吉田甲子太郎より委嘱
室生犀星「大学と薬罐」

（『新潮』30巻7号 昭和8年7月）

吉田甲子太郎「“室生犀星” 苦しい告白」

（『明治大学新聞』昭和29年10月15日
第676号）

4. 馬込文士たちの事件簿（3）

c) 犀星の病状を案ずる森茉莉

昭和37年3月に出されたとみられる
森茉莉から室生朝子へ宛てた書簡

d) 犀星没後に偽犀星からの葉書

昭和38年10月29日付け、山王書
房関根良雄宛葉書の怪